

# 議事録

## 平成20年度 第80回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成20年7月29日(火) 13:30～14:30

場 所 北方キャンパス本館E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、板谷外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、稲月学生部長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、晴山都市政策研究所長、赤塚学術情報総合センター長、田村入試センター長

### 配付資料

- 1 学部学科間人事調整委員会の審議結果について
- 2 特任教員、特任研究員任命申請一覧(国際環境工学部)
- 3 公立大学法人北九州市立大学オープンキャンパス2008実施報告
- 4 広報入試・教育支援スペースの整備について
- 5 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

(冒頭、第79回教育研究審議会議事録(案)について確認。)

### 第1号 教員の異動について

\* 資料1のとおり、外国語学部の教員1名(田村 慶子氏)の社会システム研究科への異動希望について、学部学科間人事調整委員会から同委員会の審議結果の報告がなされ、同報告に基づき平成21年4月1日の異動を認めることについて提案。

新カリキュラムが完成年度を迎える前の教員異動は差し控えるべきではないか。完成年度にこだわらず、カリキュラムへの支障がないか判断し、柔軟に対応すべきと考えている。

田村教授の異動は、教職科目への影響はないのか。

問題ない。

田村教授は基盤教育センターの教養教育科目「民族・エスニシティ問題」を輪番で担当していたが、外国語学部での後任人事も含めて、カリキュラムに支障が出ない対応をお願いしたい。

社会システム研究科谷村秀彦教授の定年退職後の後任とされているが、人事手続きのうえで問題はないか。

社会システム研究科では、地域社会領域を担当している谷村教授の後任採用に際しては、担当教員の少ない東アジア社会圏領域で採用し、その充実を行うこととした。

そこで、公募か学内登用かを検討した結果、社会システム研究科前期課程東アジア専攻及び同研究科後期課程東アジア社会圏領域の両方を一貫性をもって担当できる田村教

# 議事録

授が適任という判断から、このたびの人事手続きに至ったものである。  
後任の担当分野については、原則として学部等で決めるものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

## 第2号 特任研究員の任命について

\* 資料2のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、特任研究員2名の任命について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

## 報告

オープンキャンパス2008結果報告について、資料3のとおり報告があった。

広報入試・教育支援スペースの整備について、資料4のとおり報告があった。

教員の海外出張について、資料5のとおり報告があった。

次回の審議会を8月5日(火)に開催する予定である旨、報告があった。